

概 要

1. 事業名

平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるWell-beingの実現
～平時・災害時に対応した自立分散型システムの整備～

2. 事業費（概算・国申請時の見込額）

(1)総事業費（概算・国申請時の見込額） 199,150千円

（財源内訳）

* デジタル田園都市国家構想交付金（国）	99,575千円
* 地方（延岡市）負担金額	99,575千円※交付税措置

(2)事業費内訳（概算・国申請時の見込額）

* 各種システム（地域情報の発信、アンケート依頼、のべおかCOIN付与、
情報管理など）の構築・運用 136,150千円

* データ連携基盤との連携環境の構築 13,000千円

* Wi-Fi環境整備に向けた基地局設置工事 50,000千円

※各事業の金額や内訳については、上記の総事業費を上限として、変更があり得ます。

3. 事業期間

令和6年3月31日まで

4. 連携する大学・企業

国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)、慶應義塾大学SFC研究所、一般社団法人全国地域活性化支援機構

5. システム構築のための委託事業者

市議会での補正予算成立後、公平公正な方法により選定します。

平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現

事業費 199,150千円 (国費採択額 99,575千円/国費50%・残りの市負担分は交付税措置)

事業概要

本事業で、プライバシー保護及びセキュリティ確保の面で信頼性が高く、耐災害性を有する（携帯電話回線等が不通になっても連絡がとれる）**自立分散型システム「NerveNet/ナーブネット」**を構築する。このナーブネットを活用することで…

○平時には、今まで市が把握できていなかった、出張者や観光客などのWEBサイトの閲覧情報（足跡）を同意に基づき把握することにより分析を行い、見える化することで、「この時、この場所で、この方に、これを」といったOne to Oneの個別最適な情報提供を行うとともに、アンケート回答者に対する地域通貨「のべおかCOIN」の付与を行うなど、積極的な相互コミュニケーションによる新たなつながりを築くことで、関係人口の増加、域内消費の促進、効果的・効率的な地方創生施策の展開を図り、自律的で持続可能な地域経済の好循環を推進する。

○災害時には、迅速な災害復旧や安否確認を図るとともに、避難生活に必要な「生活必需品」等を確実に避難所に届くようにすることで、携帯電話回線等が不通になっても、指定避難所等において、誰一人取り残さない情報ネットワークによるBCPに強いまちづくりを推進する。

○こうした**平時と災害時の両方に対応したまちづくりを展開**することにより、**人口減少等に歯止めをかけ、地方創生の推進を図る。**

具体サービス

1. ナーブネットを活用し、同意に基づき入手した個人情報を用いて、地域住民や関係人口の満足度向上に向けたOne To Oneの個別最適な情報提供サービス

・各分散サーバーが常に同期をとり情報を共有する、災害にも強いシステムを導入することで、災害時でも平時と同様のサービスの提供が可能

- (1) (3) のアンケートに同意した出張者や観光客に対してポイントを付与し「外貨」を獲得する事業
 - ・関心に応じて、飲食や観光情報、ふるさと納税、移住、企業誘致等の情報を双方向でやりとりした上で、のべおかCOINのポイント付与（500円分。なお、金額は今後柔軟に検討）
- (2) 地域住民に対して各種イベント情報、行政情報（子育て情報、教育情報等）を個別に提供
- (3) 市民や観光客などへのアンケート協力依頼システム

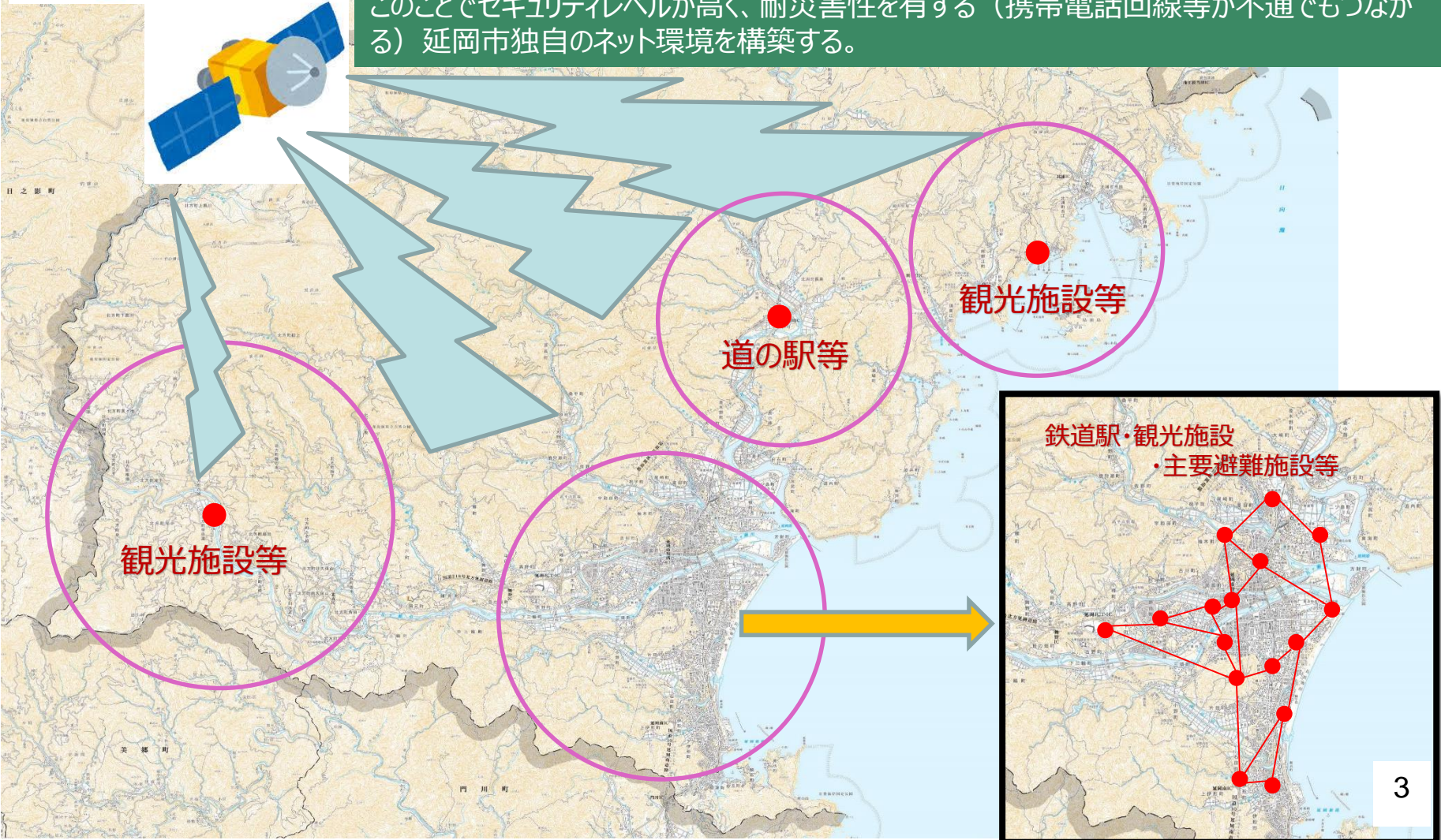
2. 避難所・災害対策本部・物流拠点間の連携を図るシステム

- (1) 避難所の入退出・安否確認をマイナンバーカードで行う機能
- (2) 避難所からの被災者支援情報を発信する機能
- (3) 生活必需品の配送機能

宮崎県
延岡市全図

自立分散型システム(ナブネット)のイメージ

- ①市内の観光施設、道の駅、主要避難所等20箇所に設置する基地局を無線でつなぐ。
 - ②旧延岡市と三北地域は、無線が通らないので衛星でつなぐ。
- このことでセキュリティレベルが高く、耐災害性を有する（携帯電話回線等が不通でもつながる）延岡市独自のネット環境を構築する。



平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現

平時の運用イメージ



人工衛星

※平時はキャリア回線をつなぐため衛星回線は使わない。



インターネット

【延岡市】ナーブネット ※延岡市独自のネット環境（高いセキュリティレベルを確保）

※Wi-fi環境



市民

出張者

観光客

②情報分析により最適化された情報の提供

①情報収集の同意

①アンケート等回答

②のべおかCOIN付与



市役所

同意による情報
アンケート情報

各種情報の見える化

関係人口の増加
双方向の情報交流
域内消費の促進

③市政策へ反映

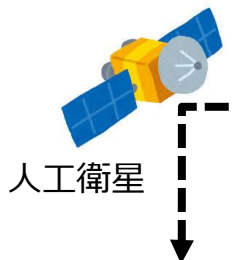


キャリア回線

キャリア回線をつなぐことでインターネットも利用可能

平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現

災害時の運用イメージ



人工衛星

キャリア回線が断絶しても、衛星でつながるため、インターネットが利用できる。



インターネット

【延岡市】ナーブネット ※延岡市独自のネット環境（高いセキュリティレベルを確保）

※Wi-fi環境 避難施設／避難者



親戚・友人等



②物資搬送

②安否情報等確認

①マイナンバー利用の同意

①必要物資情報を収集

市役所

必要物資の種類・数量
マイナンバー情報

誰一人取り残さない
BCPに強いまちづくり



キャリア回線

(想定)
キャリア回線が断絶



平時・災害時共通 住民・関係人口との相互コミュニケーションによるwell-beingの実現

【本事業の目標 (KPI) 令和5年度～令和7年度】

【目標 1】地方創生に向けた事業を展開するとともに、市民のWell-beingの向上を図ります。

- ❖ 地方創生に向けた事業を検討するための各種ニーズを把握するためのアンケート調査を実施します。
- ❖ 誰一人取り残さない、BCPに強いまちづくりによる市民の安心・安全に関する満足度の向上を推進します。

指標(KPI)	基準値(令和5年度末)	目標値(令和7年度末)
出張者や観光客の各種ニーズ把握のためのアンケート調査への回答者数	1,080人	3,240人
以前より安心・安全が高まったと回答する市民の割合	30%	70%

【目標 2】地域通貨「のべおかCOIN」の利用者・利用機会の増加を図ります。

- ❖ 市外住民(観光客、出張者等)に対する「のべおかCOIN」アプリの登録者の増加を図ります。
- ❖ アンケート協力者などに「のべおかCOIN」ポイントを付与することで地域経済の活性化を図ります。

指標(KPI)	基準値(令和5年度末)	目標値(令和7年度末)
地域通貨「のべおかCOIN」新規登録者数(累計)	1,080人	3,240人
地域通貨「のべおかCOIN」の決済額	1,080,000円	12,960,000円

【目標 3】防災アプリ登録者数の増加と防災意識の向上を図ります。

- ❖ ナーブネットを活用した防災訓練や防災講話を実施し、安心・安全感の向上を図ります。

指標(KPI)	基準値(令和5年度末)	目標値(令和7年度末)
防災訓練等の開催数	6回	18回

【目標 4】延岡市のホームページアクセス数の増加を図ります。

- ❖ より多くの関係人口へのアプローチを図るため、ホームページのアクセス数の増加を図ります。

指標(KPI)	基準値(令和5年度末)	目標値(令和7年度末)
延岡市のホームページのアクセス数	1,508,000回	1,750,000回

■ 事業推進体制

